

## 4月から内科・消化器内科 の担当医として着任



札幌朗愛会病院(豊平区)  
医師 吉田 晴恒さん

4月から札幌朗愛会病院に赴任し、内科と消化器内科を診療している。着任前までは中央区の時計台記念病院に勤務し、消化器センターの副センター長を務めた。同センターで特に力を入れた1つが便秘症に対する治療だったという。

「便秘は、慢性疾患をはじめ何らかの病気が要因となったり、薬や加齢、生活習慣、ストレスなどからも起こる

可能性があります。しかも便秘に対する認識の個人差も大きく、患者さん個々に応じた対応が求められています」。

便秘の治療では、薬物療法や生活指導が重要となるが、刺激性下剤の成分を含まない薬を中心とした処方もこれまで有効だったという。また、ここ数年で便秘に対する新薬も複数開発され、患者さんに応じて薬物を組み合わせることも可能になっていく。「これまで蓄積した診療経験を新しい病院で活かし、つらい慢性便秘に対応していきたい」と意欲的に語る。

専門医の資格では、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会のほか、日本肝臓学会認定肝臓専門医等を有し、消化器全般のほか内視鏡治療や肝臓疾患の治療も専門とする。「例えばNASH(非アルコール性脂肪肝炎)は肝硬変や肝がんのリスクとされ、患者さんも増加傾向にある疾患。早期発見に努めていきたい」。

# 散歩道

